



「自立した学習者のブラッシュアップ（深化へ）」の戦略

「4つのディープシンキング」

思考力	思考の資質・能力	思考を促す言葉	期待される生徒の姿
I. 比べる力	『多面的に比較する力』	（比べると……）	共通点や相違点を、視点を変えて多角的に比べることで、思考の視野を広げる。
II. 言いかえる力	『構造・概念化する力』	（つまり、もう少し詳しく）	単なる言葉の置き換えにとどまらず、複雑な事象の本質を捉えて「要するにどういふことか」を自分の言葉で整理・構造化する。
III. たどる力	『論理的に検証する力』	（その理由は……）	事象の背景、因果関係、歴史的経緯、思考の足跡を「なぜそうなのか」と論理的に遡ったり、先を見通したりする。
IV. つなげる力	『関係付ける力』	（○○だったから……）	既有知識と新しい知識、自分と他者の考え、教科と社会を「関係付け」て、新しい価値を「統合」して創り出す。

4つの話し合いもブラッシュアップ！ ワールドカフェ

目的

固定観念を壊し、新しい視点や考え方を得ること

焦点化のポイント

① 問題やモヤモヤを具体化する



② 他班の考えを批判的に検討する

「実現できるのか？」 「本当なのか？」

「別の見方はないか？」



③ 自分たちの考えをブラッシュアップする

もっとも本質的な解決策を考える

ジグソー

目的

異なる情報を統合し、一人では解けない課題を解決すること

焦点化のポイント

①最初の自分の役割

「仲間に何を伝えるのか」を明確にする

※自分が仕入れた情報を班員にわかりやすく伝えることを前提に

② 単なる発表ではなく、 資料同士の情報の統合が目的

ゼミナール

目的

価値観の違いを検証し、よりよい考えを創ること

焦点化のポイント

「自由に意見を言って」ではなく、

評価する観点を限定する

観点や課題について1つに絞り込んで議論する

振り返りシートと振り返りの視点「個人シート」

個人シート

Google Classroom または各クラスのリンクから以下の共有シートを開きます。

学年	学習内容 (教科書の範囲)	学習内容 (教科書の範囲)	学習内容 (教科書の範囲)	学習内容 (教科書の範囲)	学習内容 (教科書の範囲)	振り返りの視点
1	1	2	3	4	5	149
2	6	7	8	9	10	213
3	11	12	13	14	15	
4	16	17	18	19	20	
5	21	22	23	24	25	
6	26	27	28	29	30	
7	31	32	33	34	35	
8	36	37	38	39	40	
9	41	42	43	44	45	
10	46	47	48	49	50	
11	51	52	53	54	55	
12	56	57	58	59	60	

自分の小単元でのインプットとアウトプットの割合を評価します。
水色は小単元の序盤～中盤で、緑色は小単元の終盤に付きます。

授業内で大切に思ったことを書き留めます。授業の回数が増えたと同時に、「あのときこういうことを学んだな」と思い出しながら単元を学習できます。

単元の最初に見直しをします。1～11までの授業で得た学びを活かし、レポートやスライドにまとめます。
(教科によってさまざまなやり方があります。)

振り返りのサイクルは、



学年一覧シート

授業の入力したものの情報ができます。書き方の参考にしたが、自分の考えと比較したりするのもよいですね。目ざせ 230 文字！

学年	学習内容	振り返りの視点
1	1	213
2	2	
3	3	82
4	4	208
5	5	153
6	6	207
7	7	183
27	27	262
28	28	343

「比べる」、「思いかえる」、「たどる」、「つなげる」を意識して振り返られると GOOD です。

詳しく知りたければ、その人口頭問を問うに行きましょう。インプットが〇の人は自信がある人ですよ。

家で変わるとは？

学習内容と実践のつながりの整理

日常生活にもたくさん具体的な例が？ どうやって？

学習内容と日常生活のつながり

学びから得た疑問を自分で調べている

6 番の人がお面について書いてるよ



令和 8 年 9 月 1 日
豊川市立御津中学校長 峯村 邦泰